

秋田県障害者

スポーツ協会

だより

令和2年3月10日発行 第2019-2号
一般社団法人 秋田県障害者スポーツ協会事務局
〒010-0922 秋田市旭北栄町1番5号
(秋田県社会福祉会館内5階)
TEL 018-864-2750 FAX 018-874-9467
Eメール info@akita-sports.jp
HPアドレス http://www.akita-sports.jp/

第17回秋田県障害者スポーツ大会

令和元年8月24日(土)、9月7日(土)、9月14日(土)



県内障害者スポーツの祭典、秋田県障害者スポーツ大会が、ソユースタジアム（旧秋田市八橋運動公園陸上競技場）など秋田市中心部にて行われ、10代から90代まで総勢629名の選手が参加しました。

全日程、晴天に恵まれ、照りつける日差しの中での開催となりましたが、暑さをものともせず、選手の皆さんは力のかぎり競技に挑み、大盛況のうちに幕を閉じることができました。

ご協力いただいた方々に、心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

令和元年 第17回秋田県障害者スポーツ大会の報告

期日	競技名	会場	参加人数						
8月24日(土)	一般卓球	CNAアリーナ★あきた(サブアリーナ)	41	障害区分別	肢体	120			
	サウンドテーブルテニス	秋田県心身障害者総合福祉センター(体育館)	16		知的	373			
	バレーボール(精神障害)	CNAアリーナ★あきた(メインアリーナ)	44(4チーム)		精神	76			
9月 7日(土)	水泳	秋田県立総合プール	76		視覚	31			
	アーチェリー	秋田県勤労身体障害者スポーツセンター(グラウンド)	5		聴覚	28			
9月14日(土)	陸上競技	ソユースタジアム(旧八橋陸上競技場)	194		内部	1			
	フライングディスク	あきぎんスタジアム	206		合計	629			
	ボウリング	ロックンボウル	47						

令和2年 第18回秋田県障害者スポーツ大会のお知らせ

第21回全国障害者スポーツ大会三重とこわか大会、第21回全国障害者スポーツ大会バレーボール競技(精神障害者の部)北海道・東北ブロック予選会の選手派遣選考大会となります。また、第18回大会より個人競技にボッチャを追加します。

期日	競技名	会場
8月22日(土)	一般卓球	秋田テルサ(体育館)
	サウンドテーブルテニス	秋田県心身障害者総合福祉センター(体育館)
	ボッチャ	秋田県社会福祉会館(展示ホール)
9月 5日(土)	水泳	秋田県立総合プール
	アーチェリー	秋田県勤労身体障害者スポーツセンター(グラウンド)
	ボウリング	ロックンボウル
	バレーボール(精神障害)	茨島体育館
9月26日(土)	陸上競技	秋田県立中央公園陸上競技場
	フライングディスク	秋田県立中央公園球技場

※秋田県障害者スポーツ大会の参加における各競技の注意事項を、当協会ホームページに掲載しています。
選手及び引率者は必ずご確認ください。

ボッチャ競技の実施について

出場できる選手は右表の肢体不自由に限ります。
競技形式は1対1の個人戦を2エンドで行います。(立位と座位に分け、トーナメント方式で実施する予定)

ルールについては、全国障害者スポーツ大会競技規則集のとおりです。

詳細については、下記申込担当者説明会にて説明しますので、各団体の担当者は必ず出席してください。



申込担当者説明会の開催について

大会参加申込手続きや競技規則について理解を深めるために、説明会を開催します。

大会事務局より申込み手続きなどについて、競技団体より競技規則について、説明します。

【日時】令和2年4月15日(水) 9:00~12:00

【会場】秋田県庁第2庁舎8階大会議室

＜全国障害者スポーツ大会「ボッチャ」競技・種目と障害区分＞

◎男女別・年齢区分なし

		区分番号	障害区分・解説	競技スタイル	立位	座位
肢体不自由	I	切断・機能障害	1 多肢切断・両下肢完全で立位 【解説】上肢・下肢の4肢のうち3肢体を切断し義足等を使用して立位で競技する者、もしくは脳原性麻痺以外で下肢の3大関節(股・膝・足関節)全てに機能障害があり、長下肢装具を使用して立位で競技する者	◎		
			2 第6頸髄まで残存 【解説】肩関節周辺の筋力はほぼ正常な四肢麻痺者(肘関節の屈曲と手関節の背屈は正常)		◎	
	II	脳原性麻痺以外で車いす常用、使用	3 第7頸髄まで残存 【解説】肩関節周囲と肘関節周囲の筋力がほぼ正常な四肢麻痺者(肩関節と肘関節、手関節の背屈と掌屈が正常だが、物がにぎれない)		◎	
			4 第8頸髄まで残存 【解説】肩関節周囲と肘関節周囲と手関節周囲の筋力はほぼ正常で指の曲げ伸ばしも可能な四肢麻痺者(把持能力はあるが、指を強く開いたり閉じたりできない)		◎	
			5 多肢切断 【解説】上肢・下肢の4肢のうち3肢体を切断し、車いすや椅子に座った姿勢で競技する者		◎	
	III	脳原性麻痺(脳性麻痺、脳血管疾患、脳外傷等)	6 四肢麻痺で車いす常用 【解説】脳原性麻痺により四肢に著しい可動域制限や協調運動障害がある者で両上肢駆動による車いす使用者		◎	
			7 けって移動 【解説】脳原性麻痺による両上肢の障害が重度のため両下肢または片下肢で車いすを駆動させる者		◎	
			8 片上下肢で車いす常用、または使用 【解説】脳原性麻痺による片側障害で、動かすことができる側の上肢と下肢で車いすを操作する者		◎	
			9 その他走不能 【解説】脳原性麻痺による下肢障害で、杖や下肢装具の使用の有無に関わらず、走ることをできない者	◎		
	IV		10 電動車いす常用 【解説】脳原性麻痺や脳原性麻痺以外の四肢麻痺者で、日常的に電動車いす(JIS T9203)を使用している者			◎

※座位とは、車いす及び椅子に座った競技スタイルを言う。

※座位で競技する選手(区分2~8および10)の選手で、移動したり、方向を変えたりすることが機能的に困難な者及びランプ使用者について、選手1名につき1名の競技アシスタントを認める。

※立位で競技する選手については、安全上の配慮から、投球時以外はボックス内に椅子を準備し、座位にて待機してもよい。

(公益財団法人日本障がい者スポーツ協会編 全国障害者スポーツ大会競技規則集 2019年度版 より抜粋)

全国障害者スポーツ大会秋田県選手団の派遣

第19回全国障害者スポーツ大会「いきいき茨城ゆめ大会」

10月12日（土）から14日（月）まで開催予定でしたが、台風19号の発生に伴い大会中止となりました。大会中止はこれまでにない事態で、秋田県選手団にとっても非常に残念な結果でした。応援してくださった皆さま、ありがとうございました。

台風19号による被害に遭われました方々には、心よりお見舞い申し上げます。



いばラッキー
茨城国体承認第1-283号

卓球バレー全国交流大会（10月6日開催）

岩手大会、福井大会に続いて茨城大会（オープン競技）に出場したはまなすチーム。

予選リーグを1位通過。決勝トーナメント1回戦は、大分県代表チームに善戦したものの敗退。結果はベスト8となりました。

今後も全国大会での上位入賞を目指し、練習を頑張るそうです！！



第20回全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」

開催期間 令和2年10月24日（土）～26日（月）

派遣期間 令和2年10月22日（木）～27日（火）



ぐりぶファミリー
01 かごしま国体承認第1-36号

来年度は鹿児島県で開催。秋田県の個人競技選手選考委員会は5月上旬に開催予定です。

障害者スポーツ体験交流事業

中学・高校生や大学生等を対象に、障害者スポーツ（サウンドテーブルテニス、車いすバスケットボール）の体験や障害者との交流を通して、障害者への理解を深めることを目的に実施しています。

【6月26日(水)秋田和洋女子高校福祉コース3年生14名】



生徒より

- ・障害者のできることは限られていると思っていたが、実際に話をしてスポーツをする中で、私たちと変わらないことが分かった。
- ・今日を機会に何かお手伝いができるようになったと思う。
- ・将来医療系の仕事に就きたいと考えているので、今日学んだことを忘れないでいたい。

【2月26日(水)秋田看護学校看護学科1年次生36名】



学生より

- ・目が不自由なこと以外は私たちと同じ。必要な支援は大切だけれど、特別扱いはいらないと思った。
- ・周囲のサポートによって、障害者スポーツが成り立っていることを知った。

【12月14日(土)金足農業高校男女バスケットボール部員18名】



生徒より

- ・障害者スポーツをもっと多くの人に知ってもらいたい。
- ・自然とコミュニケーションが取れ、そこも車いすバスケの魅力だと感じた。
- ・僕らと同じルールでバスケをしていることが凄いと思った。
- ・日常生活の中で不便なことがあると思うが、私たちがそれに気遣い、優しさをもって接して行きたい。

【2月9日(日)秋田南高校中等部男子バスケットボール部員9名】



生徒より

- ・普段車いすバスケットボールなど、パラスポーツを気にかけてことがなかったけれど、今回の体験を通して興味を持った。
- ・障害者はどのような場面で困っているのかを知り、自分には何ができるのかを考えるきっかけになった。

在宅障害者スポーツ教室

在宅障害者が様々な運動を通して体力の維持増強を図り、交流を深めることを目的としています。また、障害者のほかに、障がい者スポーツ指導員や地域のスポーツ振興・普及に携わる方々にも門戸を開き、障害者スポーツ習得の機会を提供しています。

地区	開催期日	会場	障害者	共催団体		指導者 協議会	障がい者 スポーツ 指導員	スポーツ 推進委員	総合型SC 関係者	その他 (付添等)	合計
				障害福祉 担当課	社協						
北秋田	5月21日(火)	上小阿仁村健康増進トレーニングセンター	20	4	2	2	2	2	0	0	32
大仙仙北	5月24日(金)	美郷町中央体育館	23	4	2	2	0	0	0	9	40
能代山本	6月 5日(水)	三種町琴丘総合体育館	38	5	7	2	0	0	0	4	56
横手市	6月14日(金)	横手体育館	25	3	4	2	0	0	0	1	35
湯沢雄勝	6月25日(火)	湯沢市総合体育館	15	3	3	2	0	4	0	0	27
由利本荘市	7月19日(金)	由利本荘市コミュニティ体育館	12	2	6	3	0	0	0	2	25
大館鹿角	7月25日(木)	鹿角市記念スポーツセンター	32	6	3	3	1	0	0	2	47
秋田市	8月 2日(金)	秋田県心身障害者総合福祉センター	10	-	-	2	1	1	0	1	15
にかほ市	10月 2日(水)	にかほ市象潟体育館	17	2	3	2	1	7	0	1	33
男鹿潟上南秋	11月14日(木)	男鹿市総合体育館	14	7	4	3	2	1	1	3	35
累 計			206	36	34	23	7	15	1	23	345

(単位は人)

活動のようす

北秋田



大仙仙北



能代山本



横手市



湯沢雄勝



由利本荘市



大館鹿角



秋田市



にかほ市



男鹿潟上南秋



共催団体職員の皆さんが積極的に参加し、教室運営がスムーズに進むとともに、新たな障害者スポーツ事業の展開を目指し学ぶ姿が多くありました。今後はさらに、スポーツ推進委員、総合型地域SC関係者のほか、地域のスポーツ普及・振興に携わる方々にも広く参加していただき、障害者のスポーツ活動に対して益々の支援をお願いしたいと思います。